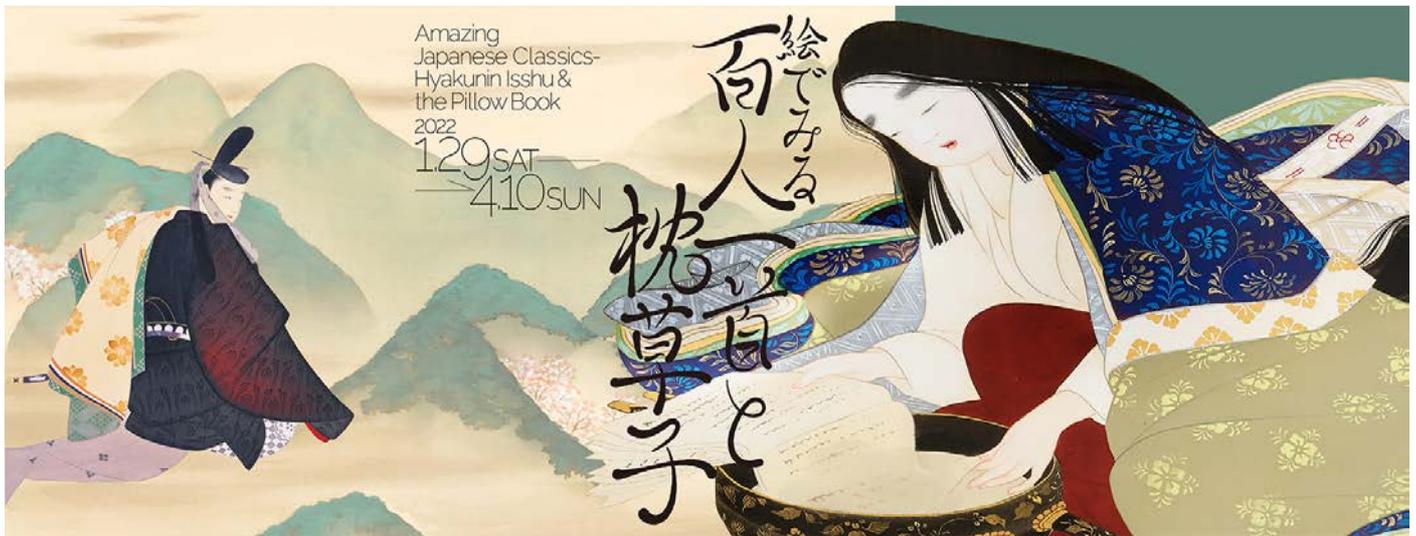


2021.11

嵯峨嵐山文華館

報道関係者各位

企画展開催のお知らせ



絵でみる百人一首と枕草子

2022年2月、嵯峨嵐山文華館にて競技かるた界を牽引するトップ選手たちが集う大会「第3回 ちはやふる小倉山杯」を開催するにあたり、企画展「絵でみる百人一首と枕草子」を実施いたします。百人一首ゆかりの作品を通じて殿上人たちの感性に触れていただくとともに、百人一首に選ばれた歌人の一人である清少納言に因み、「枕草子」の世界を想起させるような日本画の数々もお楽しみいただけます。

日時	2022年1月29日(土)～2022年4月10日(日) ○前期：2022.1/29～3/7 ○後期：2022.3/9～4/10 10:00～17:00 (最終入館16:30)
主催	嵯峨嵐山文華館・京都新聞
後援	京都府・京都市教育委員会・京都商工会議所
作品数	○前期：16点 → うち初公開5点 ○後期：17点 → うち初公開2点 ○通期：21点 → うち初公開4点 ○作品総数：54点

※作品点数は変わる可能性があります

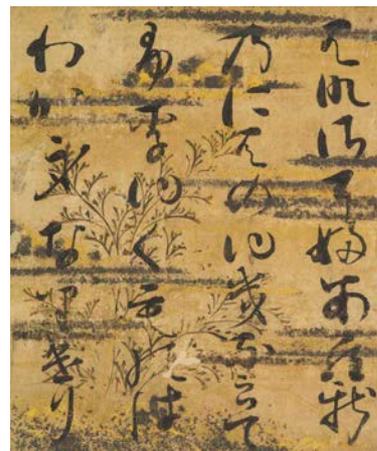


神坂雪佳「紫式部」(古聖帝名臣画冊 部分)

殿上人たちの感性に触れる

百人一首の撰者、藤原定家の山荘があったとされる小倉山。その麓に位置する嵯峨嵐山文華館では、百人一首の歴史や魅力を紹介するとともに、日本画を中心とした企画展を年4回開催しております。

本展の第一章では、藤原定家の直筆と伝わる「小倉色紙」や、江戸時代の公卿たちが古の詩歌をしたためた色紙から成る「和漢朗詠集・古今集色紙貼交屏風」をはじめ、百人一首や和歌に因んだ作品や歌仙絵などを展示いたします。



伝 藤原定家「小倉色紙 はなさそふ」

「枕草子」を想起させる日本画

「枕草子」は百人一首に選ばれた歌人の一人である清少納言が、機知に富んだ簡潔な文章で宮廷生活での体験を生き生きと綴った随筆です。2F畳ギャラリーでは、冒頭の有名な「春はあけぼの」をはじめ、各段のシーンを彷彿とさせるような日本画の名品をご紹介します。



菊池契月「かづけもの」(部分)



横山大観「春曙」(部分)



原在中「葵祭図巻」(下巻部分)



入江波光「青梅に仔雀」(部分)

第3回 小倉百人一首競技かるた ちはやふる小倉山杯

競技かるた界を牽引するタイトル保持者やA級優勝者たち8名が、男女を問わず百人一首の聖地である嵯峨嵐山文華館に集結し、対戦します。

日時：2022年2月20日(日) 10:00~17:30

主催：一般社団法人全日本かるた協会

共催：公益財団法人小倉百人一首文化財団 一般社団法人ちはやふる基金



©末次由紀/講談社

絵でみる百人一首と枕草子 プレス用画像一覧_1



01



02

01

伝藤原定家

「小倉色紙 はなさそふ」

福田美術館蔵（前期）

02

神坂雪佳「紫式部」

（古聖帝名臣画冊 部分）

福田美術館蔵（通期）



03



04

03

伊藤小坡

「草紙洗小町之図」

福田美術館蔵（通期）

04

菊池契月「かづけもの」

福田美術館蔵（通期）



05

05

尾形乾山

「三十六歌仙絵 伊勢」

福田美術館蔵（通期）

絵でみる百人一首と枕草子 プレス用画像一覧_2



06



09



07



06

横山大観「春曙」

福田美術館蔵（通期）

07

小林古径「桃実」

福田美術館蔵（前期）

08

入江波光「青梅に仔雀」

福田美術館蔵（前期）

09

冷泉為恭

「春秋野遊山行之図」

（右幅）

福田美術館蔵（後期）

10

伊藤小坡「雪の朝」

福田美術館蔵（後期）

11

原在中「葵祭図巻」

（下巻 部分）

福田美術館蔵（通期）



08

10

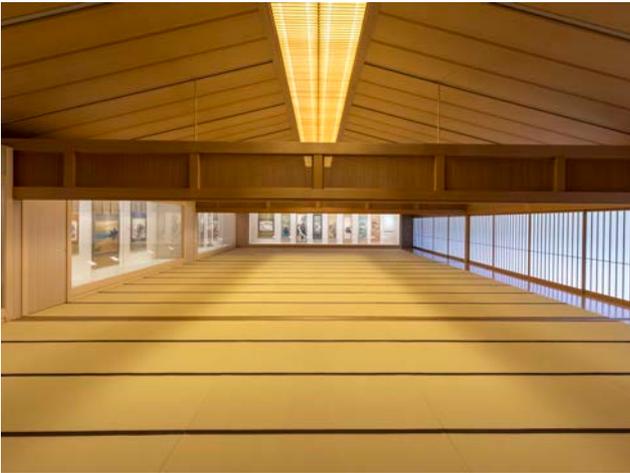


11

嵯峨嵐山文華館について

百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入ると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む2階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1階の常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と歌の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が選ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。

また2階には120畳の広々とした畳ギャラリーは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ぎいただけます。



嵯峨嵐山文華館概要

- 名称：嵯峨嵐山文華館 / Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11
- 電話番号：075-882-1111 (FAX) 075-882-1103
- メールアドレス：support@samac.jp
- ホームページ：<http://www.samac.jp>



- 運営：公益財団法人小倉百人一首文化財団
- 交通アクセス：
 - ・ JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩14分
 - ・ 阪急嵐山戦「嵐山」駅下車、徒歩13分
 - ・ 嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩5分

■ 設立：

- 2006年 「百人一首殿堂 時雨殿」として設立
- 2011年 一時休館
- 2012年 リニューアルオープン
- 2017年 一時休館
- 2018年 11月1日 「嵯峨嵐山文華館」としてリニューアルオープン

休 館
料 金

毎週火曜日

< 嵯峨嵐山文華館 >

一般・大学生 ¥900(800)/高校生 ¥500(400)/小中学生 ¥300(250)

障がい者と介添人1名まで 各¥500(400)

※ () は団体料金

< 福田美術館との二館共通券 >

一般・大学生 ¥2,000/高校生 ¥1,000/小中学生 ¥550

障がい者と介添人1名まで 各¥1,000

本展に関するお問い合わせ

嵯峨嵐山文華館 広報事務局 (ウインダム内)

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email 嵯峨嵐山文華館：samac@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「嵯峨嵐山文華館」広報事務局 担当：沼澤、多田